

# 審 査 講 評

第78回大分県畜産共進会  
肉牛の部（平成29年10月7日）

第78回大分県畜産共進会、肉牛の部の審査が皆様のご協力により無事終了したことに對しまして、審査委員を代表して心からお礼を申し上げます。

枝肉の審査につきましては、（社）日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格を基準として行いました。

まず、黒毛和種去勢牛ですが40頭の出品がありましたが、3頭は枝肉重量が基準に達していなかったため参考出品となり、計37頭で審査いたしました。

歩留まり等級はA率が94.6%、枝肉重量の平均500.4kg、コース芯面積平均64.3cm<sup>2</sup>、皮下脂肪の厚さは、平均3.0cmで昨年に比べやや下回っておりました。

次に肉質ですが、4・5率は100%でした。BMS No の平均は8.7、で昨年を上回っていました。

相対的に、ボリュームのある肉質のよい枝肉がそろっておりましたが、カブリの薄いもの、バラの薄いものも散見されましたので、今後とも一層の技術向上に努めていただきたいと思います。

次に、2区の交雑種去勢牛は10頭の出品でした。

枝肉重量は平均535.8kgでした。

枝肉の格付け状況ですが、肉質につきましては、BMS No は平均5.9、ロース芯面積は平均58.8cm<sup>2</sup>で、皮下脂肪の厚さは、平均3.4cmでありました。

BMSについては昨年度より向上しておりました。

今後とも一層の技術向上に努めていただきたいと思います。

以上の結果から、第一区 肉専用種去勢牛のトップは、宇佐市の株式会社浦田牧場さん出品の27号牛、第二区 肉用交雑種去勢牛のトップは、豊後高田市の藤本信一さん出品の44号牛に決定しました。

そして、全体のチャンピオンとして27号牛を選出させて頂きましたので報告いたします。

本日はどうもありがとうございました。

平成29年10月7日

第78回大分県畜産共進会 肉牛の部

審査委員長 茶園 崇史